三菱ガス化学株式会社

社会と分かち合える価値の創造。

News Release

2026 年 11 月 24 日
三菱ガス化学株式会社

OXYCAPT™ 多層樹脂バイアルの欧州 CDMO での採用について

三菱ガス化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:伊佐早 禎則、以下、当社)は、当社で開発した革新的な多層樹脂バイアル(製品名 OXYCAPT™)が、米国に本社を置くグローバルな医薬品受託開発・製造企業(CDMO)である AGC Biologics 社※1 のイタリア・ミラノの拠点において、同社のレンチウィルスベクター(LVV)向け容器として、採用されたことをお知らせします。

OXYCAPT™ は多層構造の樹脂バイアルであり、優れたガスバリア性、水蒸気バリア性、UV バリア性、破損耐性等を有することから、ガラスの代替容器として、-60℃以下や-130℃以下などの冷凍状態で保管されるバイオ医薬品や遺伝子治療製品、細胞治療製品、レンチウィルスベクター(LVV)、アデノ随伴ウイルス(AAV)などへの採用が期待されています。

レンチウィルスベクター(LVV)は、目的の遺伝子を細胞に運び込むための運び屋の役割を担い、CAR-T 細胞療法※2 や遺伝子治療などに活用されています。LVV は非常に繊細な性質を持ち、温度変化にも敏感であることから、-60℃以下での保存が求められます。また、輸送時にはドライアイスが使用されるため、低温における高い破損耐性とドライアイスから放出される二酸化炭素へのバリア性の両立が求められます。今回、こうした特性を持つ OXYCAPT™ が、AGC Biologics 社のイタリア・ミラノの拠点で採用されました。

当社では、今後も医療分野における課題を把握し、革新的なソリューションを提供することで医療分野の発展と患者様の健康に貢献してまいります。



OXYCAPT™

※1 AGC Biologics 社:https://www.agcbio.com/facilities/milan-cell-and-gene-cdmo-services
※2 CAR-T 細胞療法:CAR-T 細胞療法は、患者の T 細胞に遺伝子改変を加え、がん細胞を攻撃する能力を向上させてから体内に戻す「細胞免疫療法」です。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
三菱ガス化学株式会社 総務人事部広報グループ
TEL : 03-3283-5040 https://www.mgc.co.jp